

(仮称)知北平和公園合葬墓  
実施設計図書リスト

実施設計図書(意匠)	
図面番号	名称
A-01	実施設計図書リスト
A-02-a	特記仕様書1
A-02-b	特記仕様書2
A-02-c	特記仕様書3
A-02-d	特記仕様書4
A-02-e	特記仕様書5
A-02-f	特記仕様書6
A-03-a	工事区分表
A-03-b	工事区分図
A-04	設計概要書
A-06-a	面積表1
A-06-b	面積表2
A-07-a	現況図
A-08	仕上表
A-09	屋根伏図
A-10-a	全体配置図
A-10-b	全体平面図
A-10-c	平面図1(個別収蔵施設)
A-10-d	平面図2(個別収蔵施設)
A-10-e	平面図3(参拝所)
A-10-f	平面図4(合同埋蔵施設)
A-11-a	断面図1(個別収蔵施設)
A-11-b	断面図2(個別収蔵施設)
A-11-c	断面図3(参拝所)
A-11-d	断面図4(参拝所)
A-11-e	断面図5(参拝所)
A-11-f	断面図6(合同埋蔵施設)
A-11-g	断面図7(階段)
A-12-a	立面図1(個別収蔵施設)
A-12-b	立面図2(参拝所)
A-13-a	雑詳細図1
A-14-a	天井伏図1(個別収蔵施設)
A-14-b	天井伏図2(参拝所)
A-15-a	展開図1(個別収蔵施設)
A-15-b	展開図 2(個別収蔵施設)
A-15-c	展開図 3(参拝所)
A-15-d	展開図 4 (合同埋蔵施設1)
A-15-e	展開図 5(合同埋蔵施設2)

実施設計図書(意匠)	
図面番号	名称
A-16-a	建具キープラン
A-17-a	建具表
A-18-a	建具詳細図1
A-18-b	建具詳細図2
A-18-c	建具詳細図3
A-18-d	建具詳細図4
A-18-e	建具詳細図5
A-18-f	建具詳細図6
A-18-g	建具詳細図7
A-18-h	建具詳細図8
A-19-a	家具キープラン
A-20-a	家具図1
A-20-b	家具図2
A-20-c	家具図3
A-20-d	家具図4
A-20-e	家具図5
A-20-f	家具図6
A-20-g	家具図7
A-21-a	サインキープラン
A-22-a	サイン詳細図
A-23-a	雨水系統図
A-24-a	仮設計画図(参考図)
A-24-b	仮設計画図 (参考図)

実施設計図書(構造)	
図面番号	名称
S-01	構造特記仕様書
S-02	鉄筋コンクリート工事標準図(1)
S-03	鉄筋コンクリート工事標準図(2)
S-04	鉄骨工事標準図(1)
S-05	鉄骨工事標準図(2)
S-06	鉄骨工事標準図(3)
S-07	木造工事標準図(1)
S-08	木造工事標準図(2)
S-09	木造工事標準図(3)
S-10	木造工事標準図(4)
S-01-a	個別納骨室 1階伏図(1)
S-02-a	個別納骨室 1階伏図(2)
S-03-a	個別納骨室 屋根伏図
S-04-a	個別納骨室 X8通り軸組図/Y2通り軸組図
S-01-b	屋内参拝所 1階伏図 (1)
S-02-b	屋内参拝所 1階伏図 (2)
S-03-b	屋内参拝所 屋根伏図
S-04-b	屋内参拝所 X5通り軸組図/Y2通り軸組図
S-01-c	合同埋蔵施設 1階伏図
S-02-c	合同埋蔵施設 屋根伏図
S-03-c	合同埋蔵施設 X3通り軸組図
S-01-r	部材リスト、詳細図(1)
S-02-r	部材リスト、詳細図(2)
S-03-r	部材リスト、詳細図(3)
S-04-r	架構詳細図

実施設計図書(造園)	
図面番号	名称
L-01	割付レベル計画図
L-02	雨水排水計画
L-03	舗装施設計画
L-04	植栽計画図
L-05	植栽詳細図
L-06	各種詳細図1
L-07	各種詳細図2
L-08	撤去図
L-09	撤去詳細図1
L-10	撤去詳細図2

[illegible]

④ 地盤工事	1. 既製コンクリート杭 ・鋼杭地業	・ 設置する。 ・ 存置する。	・ 設置しない。 ・ 存置しない。	(3.3.1) (3.3.3)				
		杭の種類 (4.3.2) (4.4.2)						
		・ プレストレストコンクリート杭 (JIS表示承認製品)						
		・ A種      ・ B種      ・ C種						
		・						
		(4.3.2)						
		試験杭	記号	杭径 (mm)	長さ (mm) 及び種別	設計支持力	セット数	備 考
		本 杭						
		継 手 ※ アーク溶接継手又は建築基準法の規定に (4.3.6) (4.4.5) 基づき認定された無溶接継手						
・								
先端部形状 ・ 閉塞平坦型 ・ 解放型 (4.3.2) (4.4.2) (表4.4.2) (図4.4.1)								
杭の施工法								
・ 掘削打撃併用工法      フレボーリングの掘削深さ (4.3.3) (4.4.3) 杭先端予定レベルの上方      mのレベルまで オーガー径      杭径-50mm程度								
・ セメントミルク工法 (4.3.4) (4.4.3)								
・ 特定埋込杭工法 (4.3.5) (4.4.4) (旧建築基準法第38条の規定に基づき認定された工法)								
杭打機の種類								
ハンマーの種類 ※ 油圧バイルハンマー ・ ドロップハンマー								
バイルドライバー ※ 三点支持式クローラークレーン								
騒音・振動の測定 ・ 行う ※ 行わない								
コンクリートの種類 ・ A種 ・ B種 (4.5.3) (表4.5.1)								
掘削工法 ・ アースドリル工法 ※ 安定液使用 (4.5.4)								
・ リバース工法								
・ オールケーシング工法								
孔内の水張り ※ 行う ・ 行わない								
工法 ( ・ )								
④ 床下防湿層 ※ 設ける      地中梁がある場合は、250mmのみ込みとする。 (4.6.5)								
・ 設けない								
⑤ 土間スラブ (土間コン) ※ 設ける      A種ポリスチレンフォーム3種b 厚25mm+砂30mm敷き込みとし、 施工範囲は建築工事標準詳細図 (図7-01-1) による。								
下断熱材 ・ 設けない								
⑥ 砂利地業 ※ 再生クラッシャーラン ・ ( ) (4.6.2～3)								
⑤ 鉄筋工事	① 鉄筋の種類	(5.2.1) (表5.2.1)						
		規 格 名 称	種 類 の 記 号		径 (mm)			
		鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下				
			※ SD345	※ D16以上				
		※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 (5.2.2)						
		線径 (mm)    6.0   ×   網目 (mm)    100						
		使用箇所 ( )						
		(5.3.4)						
		接 合 方 法	径 (mm)	施 工 箇 所				
		※ 重ね継手	D16以下					
※ ガス圧接	D19以上	はり	柱の主筋					
(5.3.5)								
④ 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5)								
施工箇所等      表5.3.6の値に加える寸法 (mm)								
⑤ 各部配筋      各部の配筋は、図示による。図示がなければ、標準仕様書 末尾資料の「各部配筋 参考図」による。 (5.3.7)								
⑥ 柱の帯筋 ※ H形 ・ W-I形 ・ SP形 (参考図 図2.2)								
⑦ 耐震壁を除く壁の開口部補強 ・ A形 ※ B形 (参考図 表4.3～4.4)								
⑧ はり貫通孔の補強 補強形式 ※ H3形以上 ・ M型 ・ MH型 (参考図 表7.1～7.3)								
⑨ 圧接完了後の抜取試験      試験方法 ※ 超音波深傷試験 ・ 引張り試験 (5.4.9)								
⑥ コンクリート工事	① レディーミクス コンクリート	種 別	※ I類      ・ II類      (6.2.1) (表6.2.1)					
		・ コンクリート用骨材の品質試験を実施する。(構造体コンクリートのみ) (アルカリシリカ反応試験 (化学法)、密度試験、吸水率試験)						
		・ コンクリート単位水量測定を実施する。						
		普通コンクリート (JIS A5308のJIS表示認証製品) (6.2.2)						
		Fc (N/mm2)	適 用 箇 所					
		・ 24						
		※ 21						
		・ 18						
		基礎、基礎梁、土間コンクリート ※ 15cm ・ 18cm (6.2.4) (表6.2.2)						
		柱、梁、スラブ、壁 ※ 18cm (6.2.5) (表6.2.4)						
種 別      施 工 箇 所								
・ A 種								
※ B 種								
・ C 種								
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.1)								
(6.8.3)								
せき板の種類      板 厚 (mm)      適用箇所      備 考								
※ 合板 ※ 12 ・								
・ 床型枠用鋼板								
デッキプレート								
・ 断熱材兼用型枠								
MCR工法用シート ※ 適用しない ・ 適用する (6.8.2)								
・ ひび割れ誘発目地								
目地寸法 ※ 図示								
位置 ※ 図示								
(6.10.1) (表6.10.1)								
種 別      適 用 箇 所      所要気乾単位容積質量 (t/m3)								
初期養生期間      コンクリート圧縮強度が5N/mm2に達するまで行うこと。 (6.11.2～4)								
適用箇所は (6.14.1) による他、下記による。 (6.14.1)								
適 用 範 囲								
(6.15.1) (6.15.3)								
種 別      ベースコンクリートのスランブ (cm)      流動化コンクリートのスランブ (cm)      使用箇所								
普通コンクリート								
</								

[illegible]



⑭	断熱材	(19.9.2) (19.9.3)					8. 鏡	耐湿鏡 t=5	ステンレスフレーム付き	(20.2.9)	②	① 再生材	※ 使用する ・ 使用しない (22.1.3)				6. 屋上緑化	(23.5.2) (23.5.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		種 類		箇 所	厚さ (mm)	備 考							工 法		土 壌 層 厚 さ			保 水 ・ 排 水 層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種b		・ 25 ・	JIS A 9511の JIS表示認証製品							・ 屋上緑化システム	・ 6cm ・ 12cm ・ 30cm	・ 適用する材料 ( ・ 軽量骨材 ・ 板状成形品) ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		※ 押出法ポリスチレンフォーム保温板 (A種)	・ 2種b ・ 3種b (スキン層あり)	下記以外 設置部分及び屋根防水部分 ビット内部	※ 25 ・								・ 屋上緑化軽量システム	※ システム製作所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※ A種 ・	・	・								15mm 以上の、化学物質、モルタル、コンクリート、小石等、その他の植物の生育に有害な物質は取り除くこと。植栽用土の適格性を証明する土の粒径加積曲線を示した図表を作成提出し、承認を得ること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		・ フェノールフォーム保温材	※ A種 ・	・	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品							⑦ 植栽土壌に対する条件																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※ A種1	・	※ 20 ・	JIS A 9526の JIS表示認証製品 ・ 2級 ※ 3級							⑧ 植栽材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		※ 施工範囲は建築工事標準詳細図 (図7-01-1) による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		上記以外に用いる断熱材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種 類		箇 所	厚さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ JISA発泡プラスチック保温材	・ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種b ※ A種押出法 3種b (スキン層あり)	下記以外 設置部分及び屋根防水部分 ビット内部	※ 25 ・	JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ グラスウール保温材	※ 24K品		※ 100 ・	JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ・ 被覆品 ・ 防湿層ポリエチレンフィルム (t0.15) 張り (重ね100)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑮	1. フリーアクセスフロア	(20.2.2)					17. くつふきマット																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	



工 事 区 分 表						
1）本工事施工中は、別途工事受注者と連絡を密にし、工事の進捗等に支障なきよう責任をもってあたること。						
2）工事区分表は○印のついたものを適用する（特記ある場合は除く）						
共 通 事 項						
工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
鉄筋コンクリート造躯体貫通部（設備工事用）の補強筋工事	○					
同上用スリーブ並びに箱入れの穴埋補修（仕上げは除く）		○	○	○		
床上機器用コンクリート基礎工事	○					
床上機器用コンクリート仕上	○					
設備配管吊りボルト用インサート類		○	○	○	○	○
吹出口、吸込口、並びに埋込照明器具、埋込スピーカー、天井埋込換気扇、取付の為の枠組みと補強	○					
同上穴明工事		○	○	○		
防火区画貫通部のダクト、配管等の防火養生		○	○	○		
鉄骨造（SRC造も含む）鉄骨貫通部開口（設備工事用）と補強	○					
機器操作盤への一次側電源供給工事				○		
煙導製作取付、煙突接続（空隙耐火材詰め含む）（発電気用含む）		○	○	○		
A.L.C板穴名工事（設備工事用）	○					
A.L.C板貫通部の補修（設備工事用）	○					
鉄骨耐火被覆（ロックウール成形板等）の穴明（設備工事用）	○					
盤類器具類（衛生器具）取付の枠組と補強（木造、プレハブ、SRC等）	○					
建 築 工 事 関 係						
工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
パイプシャフト、及び天井の点検口製作取付	○					
建物内の排水溝並びに配管配線用ピット及び、各水槽の蓋製作取付	○					
建物外壁に取付く、ガラリ（吸気・排気）の製作取付（防虫網取替可能型）（ダクト接続型）	○					
ドア並びに間仕切壁のガラリ、製作取付	○					
壁付換気扇の取付用穴明	○					
壁付換気扇の取付及びガラリ、フードの取付	○					
コンクリート造のチャンバ及びダクト（消音、保温共）	○					
ルーフトレーン及び縦樋（GL-200迄）	○					
縦樋以降配管（継ぎを含む）			○			
建物廻り雨水側溝の接続（側溝と側溝）工事	○					
建物廻り側溝以降の雨水排水設備			○			
厨房内排水溝						
サービスタンク、油ポンプ廻り防油堤築造	○					
二重スラブ内連通管及び通気管（湧水槽等）	○					
煙突工事（内部ライニング含む、コンクリート躯体）	○					
煙突内部排水配管（目皿含む）			○			
汲取便槽	○					
同上煙突	○					
身障者用便所の手すり	○					
照明付化粧鏡への電源接続工事				○		
空調機の間接排水配管工事（トラップは機器工事）			○			
屋上集熱器設備工事			○			
電 気 工 事						
工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
はり、床、壁の貫通スリーブ				○		
同上に伴なう補強	○					
天井埋込器具取付箇所のボード切込				○		
同上に伴なう下地補強	○					
壁埋込器具盤の仮枠又はボード切込				○		
同上に伴なう補強	○					
自立盤、トランス、発電気等のコンクリート基礎	○					
同上コンクリート基礎仕上	○					
発電気減圧水槽及び冷却水槽への給水管			○			
別途工事盤類の取付	○	○	○		○	○
同上に伴なう二次側配管、配線	○	○	○		○	○

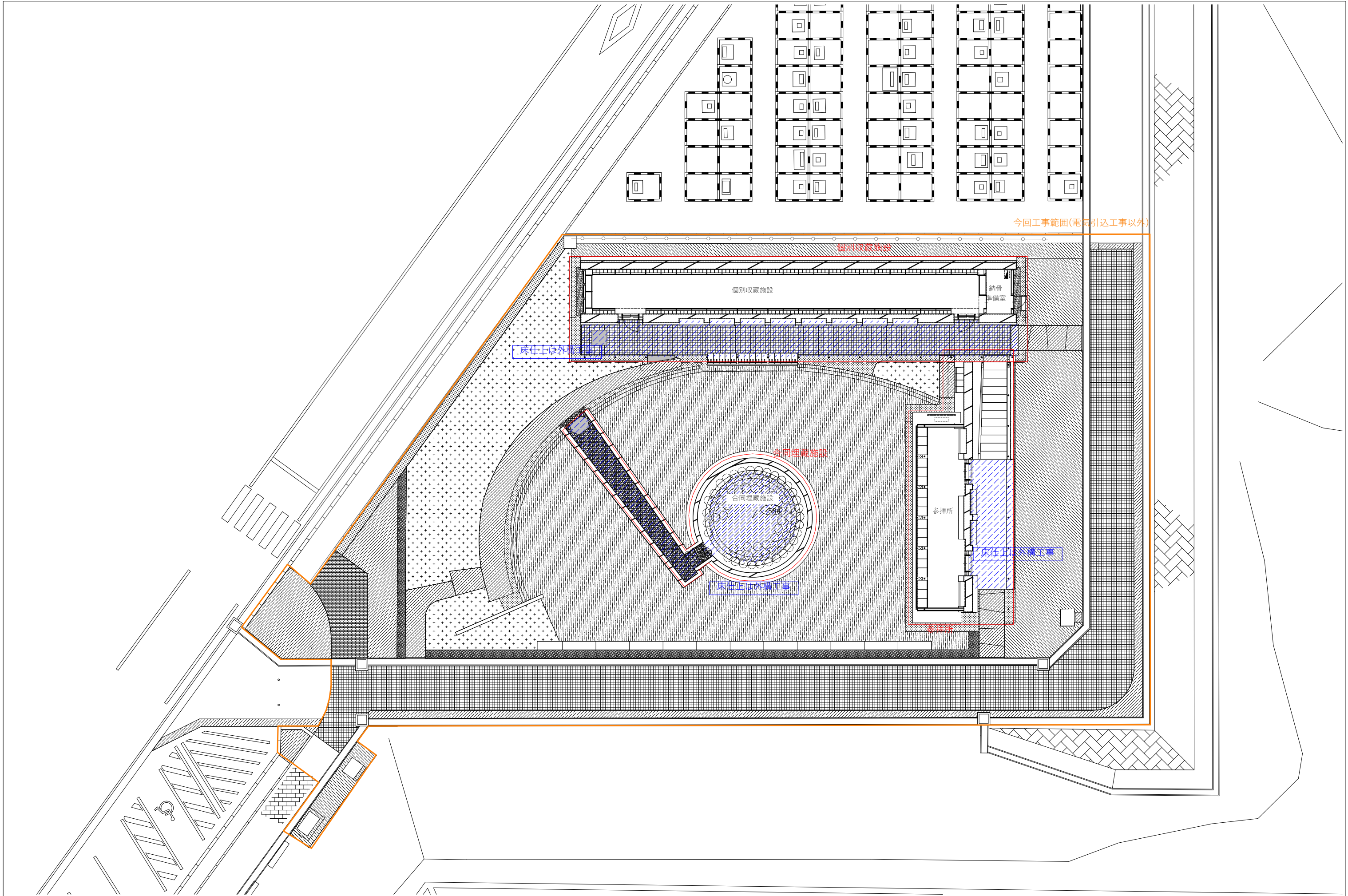
工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
別途工事機器への接続（直接接続に限る） 回転方向等の確認				○		
照明器具、幹線等の吊りボルト用インサート				○		
身障者用便所使用灯、鍵連動装置取付				○		
同上に伴なう二次側配管、配線				○		
テレビアンテナマスト、避雷針等のコンクリート基礎	○					
同上 コンクリート基礎仕上	○					
配管類の防火区画貫通部の補修				○		
防火扉用レリーズの取付				○		
防火シャッター、防火垂壁用レリーズの取付	○					
防火ダンパー用レリーズの取付		○				
上記3項目に伴なう配管、配線				○		
防火シャッター警報ブザー用リミットスイッチ取付	○					
ファンコイルユニット用操作スイッチ取付 及び配管、配線				○		
配線ピット	○					
同上用蓋	○					
電動暗幕装置	○					
同上電源接続及び操作スイッチ取付				○		

衛 生 工 事 関 係						
工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
大便器用箱入れ	○					
同上用補強工事	○					
大便器用箱入れ位置（墨出し）			○			
消火栓ボックス用箱入れ（補修は除く）			○			
同上用補強工事	○					
高架水槽用架台			○			
高架水槽用基礎（仕上共）	○					
ステンレス製流し台（V.P管接続用トラップ含む）	○					
同上流し排水管接続			○			
造り付け各種流し台（人研・コンクリート等）	○					
同上流し排水トラップ取付			○			
洗濯機用パン（排水トラップ共）			○			
グリーストラップ（既製品）			○			
浴槽並びに風呂釜	○					
ハロン消化設備（ガス圧ダンパー制御配管含む）			○			
同上制御盤迄の1次側配線、配管（電源供給）				○		
ハロン消火設備連動のファン等の停止回路				○		
化粧棚及び化粧鏡			○			
消火ポンプ起動回路及び表示灯回路				○		
消火栓ボックスの起動押ボタン及び表示灯 取付並びに配線、配管				○		
消火栓ボックスの取付			○			
非水洗及び簡易水洗の便器	○					
同上用紙巻器（取付具）			○			
簡易水洗便器の止水栓（器具接続迄）			○			

昇 降 機 工 事 関 係						
工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
昇降機機械室床軽量コンクリート仕上並びにスラブ開口及び補強工事	○					
乗場廻り（扉、三方枠）、仮枠	○					
同上補修	○					
同上補修後の仕上工事	○					
乗場敷居持出コンクリート工事	○					
荷揚用フック取付工事	○					
昇降機中間ビームの取付（鋼構造の場合）						
レール取付用ブラケット、プレート共	○					

空 調 工 事 関 係						
工 事 項 目	建築	空調	衛生	電気	昇降機	水処理
壁取付換気扇（取付共）	○					
厨房器具用フード囲い（化粧板含む）	○					
壁付けレンジフード（取付共）	○					
膨張タンク基礎（仕上共）	○					
壁貫通ダクト補強工事	○					







1.工事名称	工事名称	(仮称)知北平和公園合葬墓地
	建設地	(地名地番) 愛知県大府市桜木町5丁目地内
	主要用途	(住所表記) 愛知県大府市桜木町5丁目118
	その他	
	工事種別	新築(増築)・改築・改修(大規模に修繕)・室内装飾 用途変更(大規模の模様替え)・仮設建設・解体・移設

※知北平和公園内に休憩所など既存建物あり      ※既存建物があるため新築建物も工事種別としては増築とする

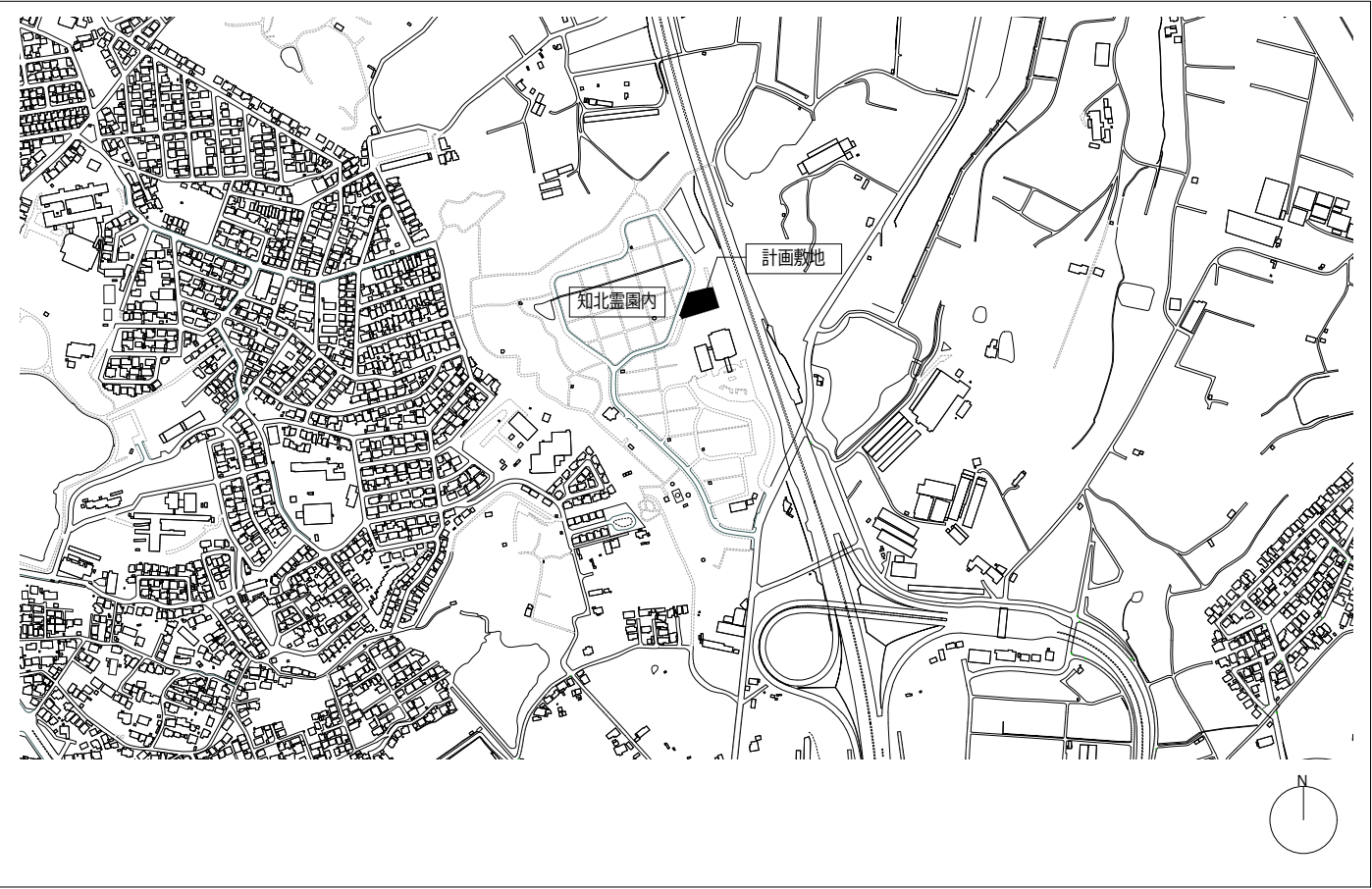
2.敷地状況	敷地面積	公簿 敷地全体 119,435.25㎡ (=36129.16坪)	建坪率	基準建坪率 60.00%
	用途地域	住居専用(第一種低層)・住居・近隣商業・商業・準工業 工業・工業専用(指定なし)	容積率	基準容積率 200.00%
	防火地域	防火・準防火(指定なし)・(特定行政庁の指定区域) (法22条地域)	容積率	道路幅員による容積率: 日影制限 なし    高さ制限    m
	その他の地域地区	都市計画区域内・都市計画区域外・市街化区域・市街化調整区域・特別工業地区・特別用途地区・美観地区・再開発事業地区・特定街区・改良地区 風致地区(第1種)・高度地区(第1種)・駐車場整備地区・電波伝搬障害防止地区・多雪地区・災害防止地区・緑地地区・文教地区(第2種) 土地区画整備事業地区<宅地造成工事規制区域>国立公園・国定公園・河川敷・その他(駅周辺地区)・砂防区域・特定都市河川流域		

3.構造・規模	構造	SRC造・RC造・PC造・鉄骨造・軽鋼鉄骨造・CB造・木造 その他 一部RC造、木造			階数	地上1階
	構造形式	ラーメン・壁式・立体トラス・シェル・折半・在来工法 工業・工業専用・指定なし			最高高さ	3.952M
	基礎	地盤支持(ベタ・布・独立)その他(マツスラブ) 杭支持(PC杭・RC杭・ペント・アースドリル・深礎・その他)			最高軒高	3.952M
	建築面積	既存建物 583.25㎡	増築 213.88㎡		既存建物+増築	797.13㎡
	延床面積	既存建物 546.39㎡	増築 178.24㎡		既存建物+増築	724.63㎡

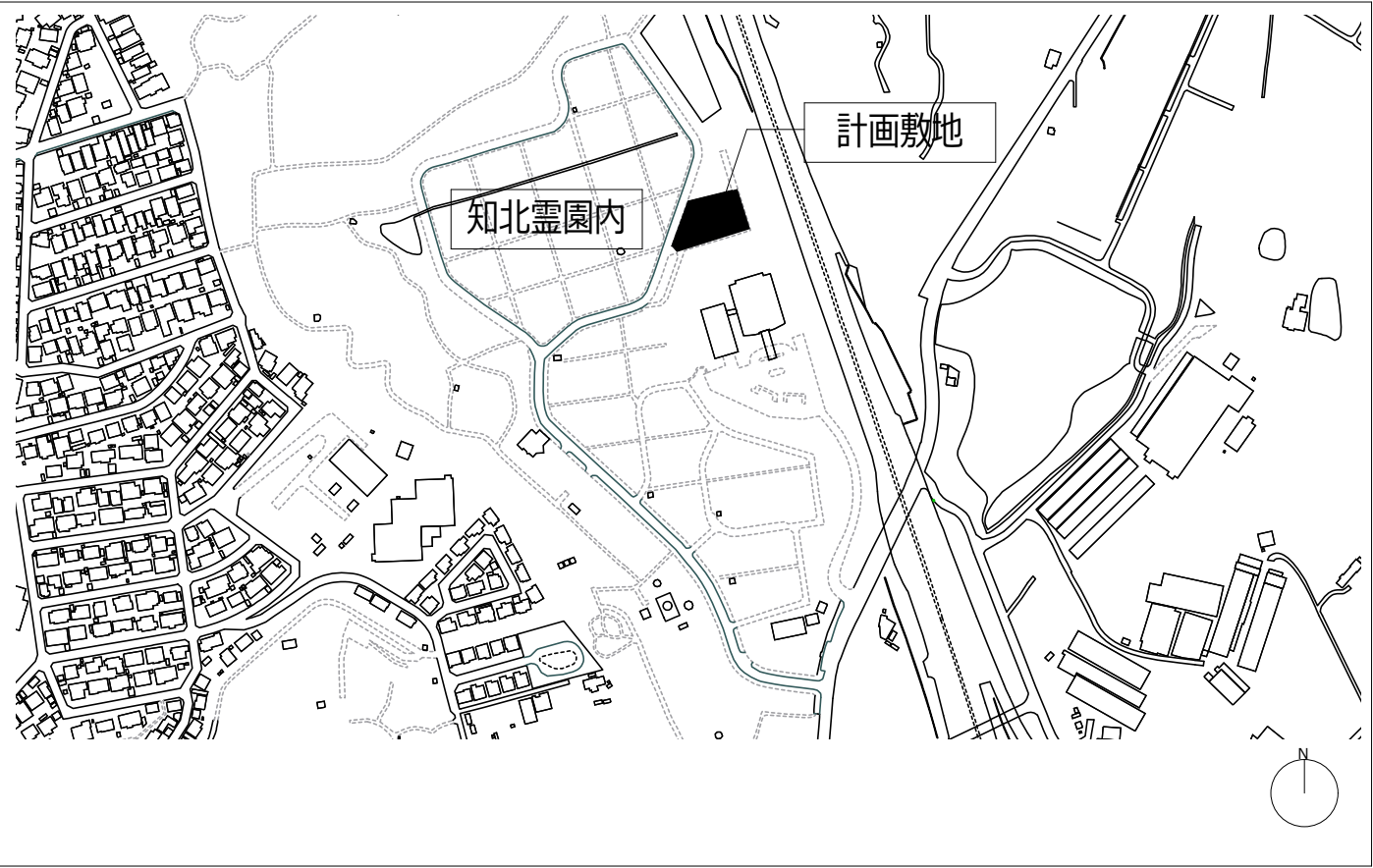
4.工事範囲	種別	工事項目	備考	種別	工事項目	備考	種別	工事項目	備考
	敷地造成	敷地造成		付属備品	銘名板・表札		電気工事	受変電	
		整地			表札・文字			自家発電	
		擁壁			黒板・掲示板			蓄電池	
		排水			郵便受			動力	
		道路			定礎板			電灯コンセント	
		橋梁			サイン			照明器具	
		護岸						電話機器	
		防潮設備						電話配線	
								インターホン	
	撤去工事	在来基礎撤去		備品	可動家具		撤去工事	電気時計	
		埋設物撤去			固定椅子			テレビ共同視聴	
		工作物撤去			什器備品			放送	
					カーテン			火災報知器	
					ロールスクリーン			セキュリティ	
	移設工事	在来建物移設			敷物・マット				
		工作物移設			装飾物		給排水	給水	
		樹木移設						給湯	
	解体工事	解体工事						衛生器具	
								ガス	
	外構	植樹造園		補償	日影影響			防炎(消火栓等)	
		舗装			電波障害			ガス	
		路面駐車場			騒音			給水処理設備	
		門・扉			風害			排水処理設備	
		盛り土			近隣工作物		冷暖房	排水通気	
		テラス			隣家補償			汚水槽	
		バーゴラ			枯木			暖房	
		外灯						冷房	
		境界手摺						防災(排煙)	
		看板					昇降機	エレベーター	
		広告塔						エスカレーター	
		広告板						ダムウエーター	
		ネオン							
		遊戯施設							
		ゴンドラ							
		物干し							
		塵芥焼却炉							
		独立煙突							
		避難器具							
		物置							
		浄化槽							

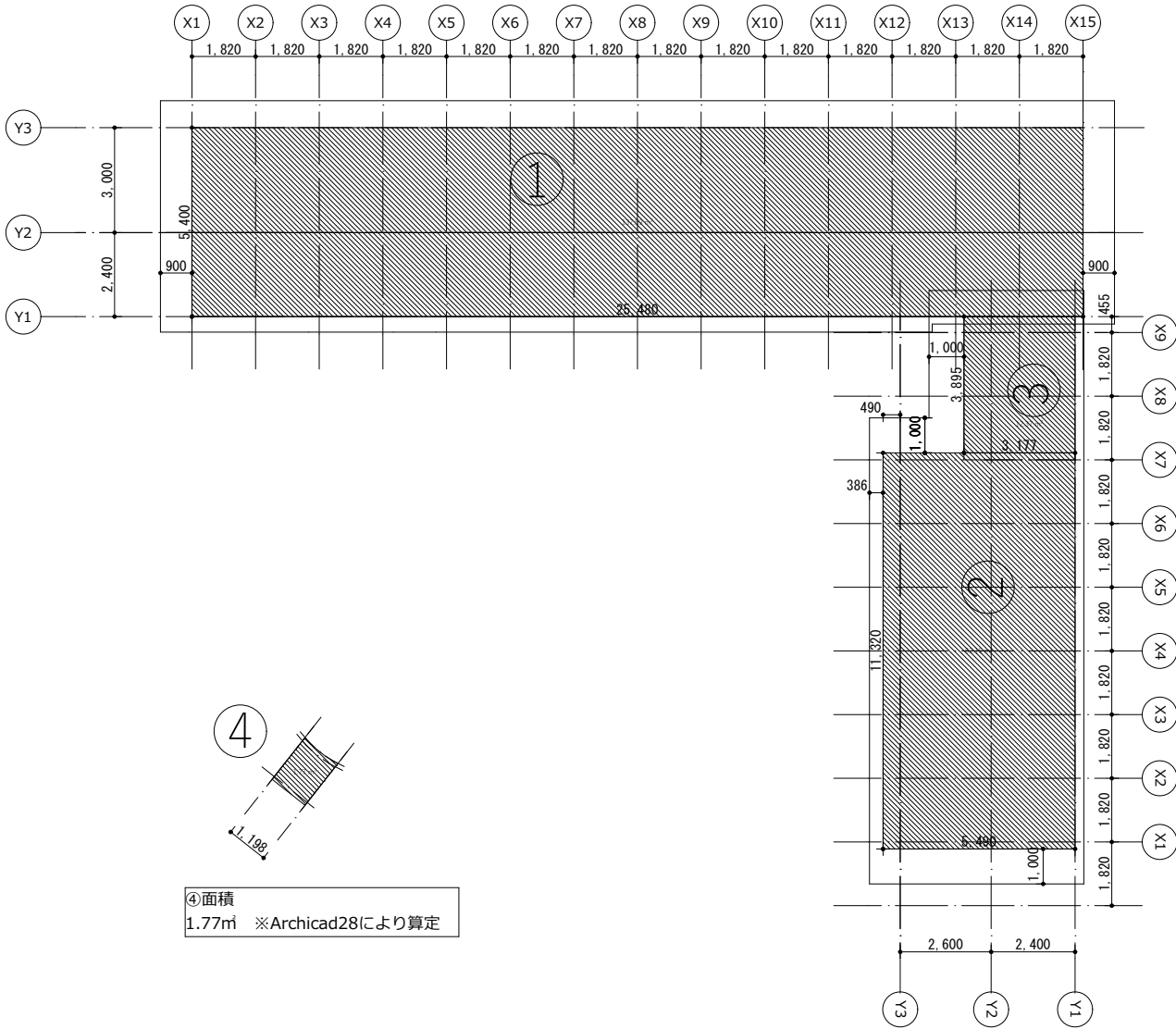
5.床面積 (今回増築部分のみ)			容積対象面積	対象外面積	延床面積	
	棟1	㎡	129.06	0.00	129.06	
		坪	39.04	0.00	39.04	
	棟2	㎡	49.18	0.00	49.18	
		坪	14.88	0.00	14.88	
	棟3	㎡	0.00	0.00	0.00	
		坪	0.00	0.00	0.00	
		㎡				
		坪				
	TOTAL	㎡	178.24	0.00	178.24	
		坪	53.92	0.00	53.92	

案内図 1/10000



付近見取図 1/5000





□建築面積求積図 S=1/200

個別収蔵施設 建築面積求積表						
NO.	L	H	倍率	三角形面積(㎡)	矩形面積(㎡)	面積(㎡)
1	25.4800	5.4000	1.000		137.59	137.59
小計						137.59
建築面積						137.59 <sup>①</sup>

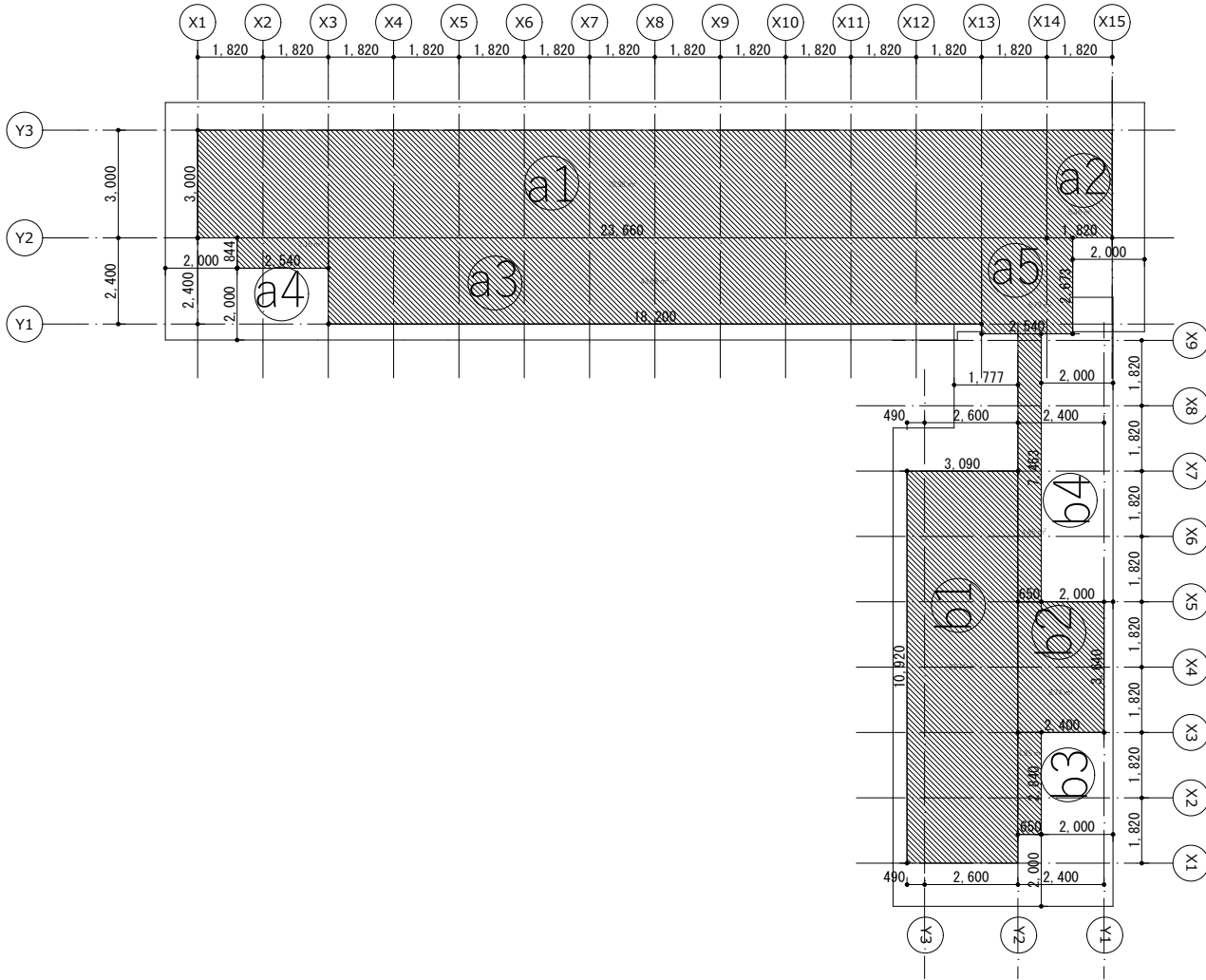
参拝所 建築面積求積表						
NO.	L	H	倍率	三角形面積(㎡)	矩形面積(㎡)	面積(㎡)
2	11.320	5.490	1.000		62.15	62.15
3	3.895	3.177	1.000		12.37	12.37
小計						74.52
建築面積						74.52 <sup>②</sup>

合同埋蔵施設 建築面積求積表						
NO.	L	H	倍率	三角形面積(㎡)	面積(㎡)	面積(㎡)
4					図を参照 1.77	1.77
小計						1.77
建築面積						1.77 <sup>③</sup>

□面積表

	与式番号	面積(㎡)
個別収蔵施設	①	137.59
参拝所	②	74.52
合同埋蔵施設	③	1.77
建築面積	④	213.88
既存建物建築	⑤	583.25

④+⑤=797.13㎡



延床面積求積表

棟	室名	NO.	L	H	倍率	与式番号	三角形面積(㎡)	矩形面積(㎡)	計算式	面積(㎡)
1	個別収蔵	a1	23.660	3.0000	1.000			70.98		70.98
	納骨準備室	a2	1.820	3.0000	1.000			5.46		5.46
	屋外参拝所	a3	18.200	2.4000	1.000			43.68		43.68
	アプローチ	a4	2.540	0.8440	1.000			2.15		2.15
	アプローチ	a5	2.540	2.6730	1.000			6.79		6.79
合計										129.06

アプローチ部分も軒先から2m以上は延床面積算入  
法延床面積 129.06㎡－容積対象床面積不算入 0㎡＝容積対象床面積 129.06㎡

延床面積求積表

棟	室名	NO.	L	H	倍率	与式番号	三角形面積(㎡)	矩形面積(㎡)	計算式	面積(㎡)
2	屋内参拝所	b1	10.920	3.090	1.000			33.74		33.74
	休憩所	b2	3.640	2.400	1.000			8.74		8.74
	アプローチ	b3	2.840	0.650	1.000			1.85		1.85
	アプローチ	b4	7.463	0.650	1.000			4.85		4.85
合計										49.18

アプローチ部分も軒先から2m以上は延床面積算入  
法延床面積 49.18㎡－容積対象床面積不算入 0㎡＝容積対象床面積 49.18㎡

□面積表

	与式番号	面積(㎡)
棟1	①	129.06
棟2	②	49.18
棟3	③	0
延床面積	④	178.24

既存建物延床	⑤	546.39
--------	---	--------

④＋⑤＝724.63㎡

使用建蔽率及び容積率

敷地面積			119,435.25㎡
使用建蔽率	797.13/119,435.25×100=0.667	0.67 %	< 60%
使用容積率	724.63/119,435.25×100= 0.607	0.61%	< 200%

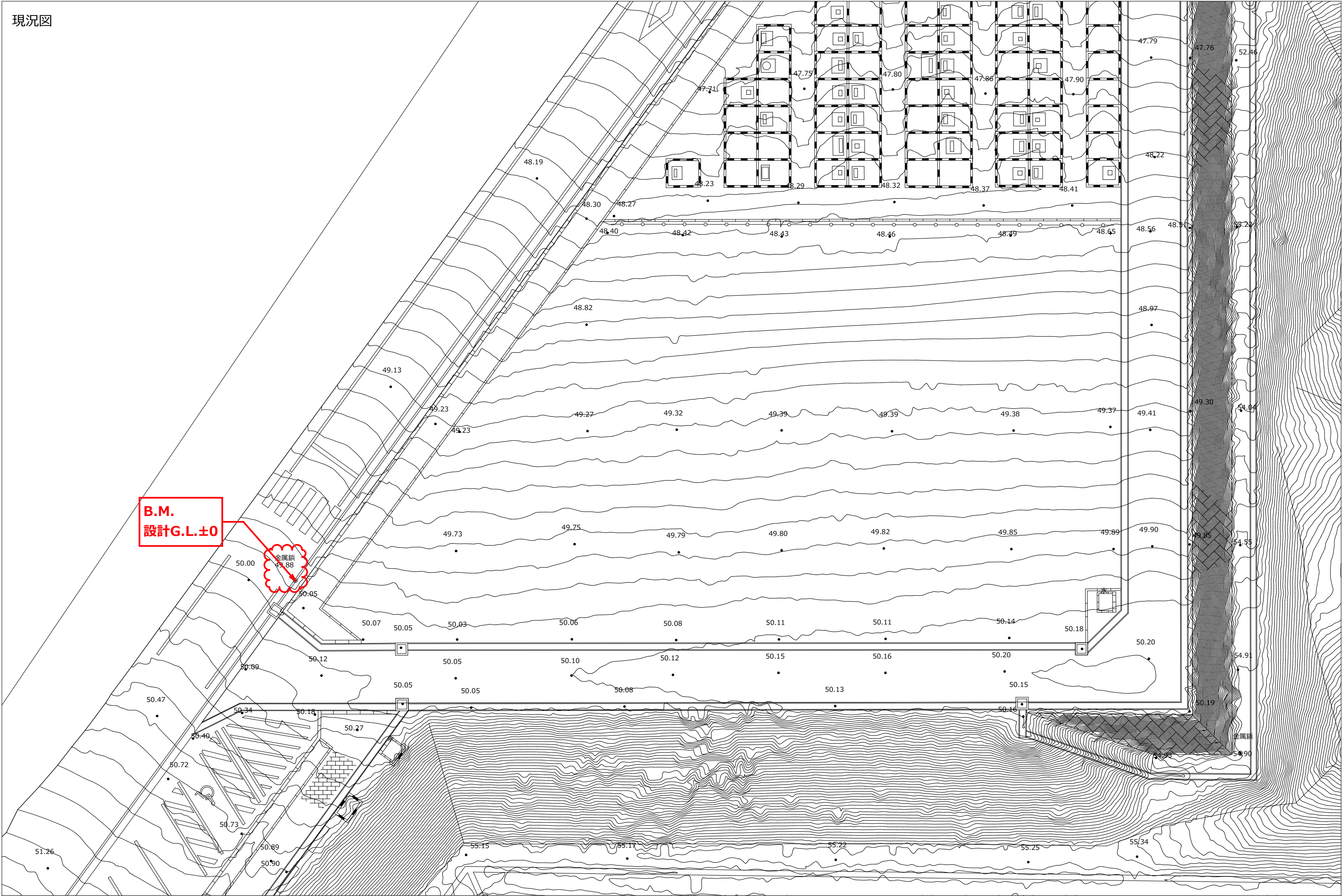
延床面積求積表

棟	室名	NO.	半径R	半径r	倍率	与式番号	三角形面積(㎡)	円形面積(㎡)	計算式	面積(㎡)
3	合同埋蔵								屋根がないため0㎡	0
合計										0

③



現況図



□内部仕上表								
室名	床下地		床仕上	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	備考
屋内参拝所	RC		コンクリート+金鍍押え防塵塗装	RC,木下地	RC:ビシャン仕上げ+透明着色撥水剤,透明着色撥水剤,木下地:杉板+屋内用木材保護塗料	木下地	オイル塗装	-
個別納骨室	RC		コンクリート+金鍍押え防塵塗装	RC,木下地	RC:透明着色撥水剤; 木下地:PB(t=12.5)+内装薄塗装	木下地	オイル塗装	-
納骨準備室	RC		コンクリート+金鍍押え防塵塗装	RC,木下地	RC:透明着色撥水剤; 木下地:PB(t=12.5)+内装薄塗装	木下地	オイル塗装	-
合同埋蔵施設	RC		石(あられこぼし), 植栽 (外構工事)	RC	ビシャン仕上げ+透明着色撥水剤,透明着色撥水剤	RC	透明着色撥水剤	-

透明着色撥水剤：セラミクリートF 3分艶クリヤー仕上げ (ふっ素樹脂塗料) /エスケー化研 同等品  
内装薄塗装：ジョリパッド/アイカ工業 同等品  
防塵塗装：セラキュア/ABC商会 同等品  
屋外用木材保護塗料：キシラデコール(ジェットブラック) 同等品  
屋内用木材保護塗料：水性キシラデコール インテリアファイン(ジェットブラック) 同等品  
オイル塗装：VATON FX/大谷塗料 同等品  
屋根ガルバリウム鋼板：立平葺き5分高さ/カラーGL t=0.4/セキノ興業 同等品  
透湿防水シート：スーパーエアテックスKD30/FUKUVI 同等品

内装仕上の壁・床・天井・建具仕上に用いる建築材料はすべてF☆☆☆☆、または規制対象外の材料を使用すること。  
天井裏、床裏、外壁、間仕切り壁、収納に用いる建築材料はすべて 第3種等級、またはF☆☆☆☆の材料を使用すること。  
室内以外の床仕上は外構工事とする

個別収蔵施設棟	
部位	仕 上
屋根	構造用合板(木曽ヒノキ合板) t=20+断熱材(t=80)ネオマフォーム同等品+通気垂木(105*45)+構造用合板(t=24)+アスファルトルーフィング+ガルバリウム鋼板(t=0.4)
軒裏	杉板(t=20)+屋外用木材保護塗料
外壁	屋外側(木造部分)：構造用合板(t=12)+透湿防水シート+通気胴縁(t=15)+杉板(t=12)+屋内用木材保護塗料
	屋内側(木造部分)：PB(t=12)+内装材薄塗材
	屋外側(RC部分)：ビシャン仕上げ+透明着色撥水剤,透明着色撥水剤
	屋内側(RC部分)：透明着色撥水剤
基礎	鉄筋コンクリート造ベタ基礎/立ち上がり：透明着色撥水材
開口部	木製建具

付属物：雨樋、換気口

参拝所棟	
部位	仕 上
屋根	構造用合板(木曽ヒノキ合板) t=20+断熱材(t=80)ネオマフォーム同等品+通気垂木(105*45)+構造用合板(t=24)+アスファルトルーフィング+ガルバリウム鋼板(t=0.4)
軒裏	スチールプレート+高濃度亜鉛末塗料(ローバレマットカバー同等品)
外壁	屋外側(木造部分)：構造用合板(t=12)+透湿防水シート+通気胴縁(t=15)+杉板(t=12)+屋外用木材保護塗料
	屋内側(木造部分)：杉板+屋内用木材保護塗料
	屋外側(RC部分)：ビシャン仕上げ+透明着色撥水剤,透明着色撥水剤
	屋内側(RC部分)：ビシャン仕上げ+透明着色撥水剤 ,透明着色撥水剤
基礎	鉄筋コンクリート造ベタ基礎/立ち上がり：透明着色撥水材
開口部	アルミ製建具、木製建具

付属物：雨樋、換気口

合同埋蔵施設	
部位	仕 上
外壁	屋外側(RC部分)：ビシャン仕上げ+透明着色撥水剤,透明着色撥水剤
	屋内側(RC部分)：透明着色撥水剤
基礎	鉄筋コンクリート造ベタ基礎/立ち上がり：ビシャン仕上げ+透明着色撥水材 埋設部分：コンクリート打放し
開口部	建具なし

■耐火・準耐火リスト

防火構造制限：法22条地域(延焼のおそれのある部分なし)

部位	構造または使用材料	備考	
屋根	ガルバリウム鋼板	不燃材料	建告1400号

